

令和2年度全国道路・街路交通情勢調査 の延期について

令和2年10月14日

国土交通省 道路局 企画課
道路経済調査室

令和2年度 全国道路・街路交通情勢調査 延期について

- 「全国道路・街路交通情勢調査(以下、本調査)」は、全国道路交通の現況と問題点を把握し、将来にわたる道路の整備計画を策定するための基礎資料を得る目的で、昭和3年度以降、原則5年に一度全国的な規模で実施している調査であり、令和2年度に実施予定であった。
- 今般、新型コロナウイルスの影響を踏まえ、本調査のデータも活用しつつ、交通機関横断的に旅客流動の実態を調査する、「全国幹線旅客純流動調査(以下、純流動調査)」の延期が決定された。
- 本調査と純流動調査のデータ取得年次が異なる場合、純流動調査結果の精度に影響を及ぼすとともに、本調査と純流動調査を共に活用する将来交通需要推計の実施が困難になることを鑑み、本調査についても併せて延期する。
- 本調査の実施時期については、純流動調査の実施時期も踏まえ、今後検討する。

(参考) 今後の全国道路・街路交通情勢調査等の進め方

次回 全国道路・街路
交通情勢調査

旅行速度

・ETC2.0による把握(可搬型路側機も活用)

交通量

・CCTVカメラ画像のAI解析等の活用による人手観測廃止

OD表

・OD調査(ETC2.0を活用したOD表作成のためのデータ収集)

旅行速度(ETC2.0)

●ETC2.0の普及によるサンプル数増加

交通量(トラカン・AI画像解析)

●システム改修
→全国集約サーバーの整備 等
●画像のAI解析精度の向上

OD表(ETC2.0)

●ETC2.0を活用したOD表の作成
→トリップ判定手法の精度向上
→断面交通量を併用した逆推定手法の開発 等

常時観測体制の確立

次々回 全国道路・街路
交通情勢調査

・道路状況調査にも3次元点群データ等を活用

旅行速度

交通量

OD表

現地調査等を不要に
すべく常時観測データ
を活用

+

経路・リンク・レーン交通
量や歩行者・自転車等の
新たなデータを取得

データプラットフォーム構築・オープン化

共有